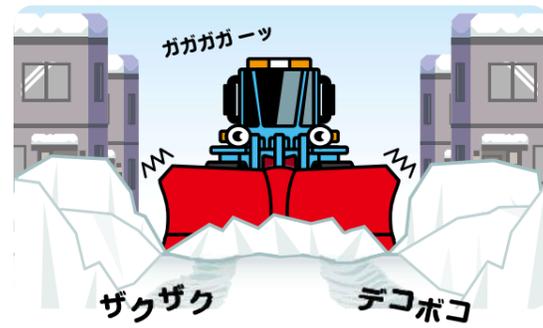


路面整正とは

降雪や気温の変化によって、路面はデコボコになったりザクザクになったりなど、様々に変化します。

車や歩行者のスムーズな通行を確保するため、路面の雪を削り平らに整正します。



新雪除雪

路面整正

作業イメージ



朝のラッシュまでにすべての道路を除雪します！

路面を削った雪は、間口の前には極力置かないよう留意します！

いつ？
(出勤基準)

新雪が降り、交通に支障が生じると思われるとき。

路面の圧雪が厚くなり、段差や凹凸で交通に支障が生じるとき。
急な暖気や降雨により、ザクザクで交通に支障が生じるとき。

どんな風に？
(作業方法)

交通を確保するため、降り積もった雪をかき分けます。

交通を確保するため、路面を削り、その雪をかき分けます。

かき分け作業により生じる雪

新雪(フカフカもあればベタ雪もあります)。

固くて重たい圧雪状の雪、氷盤。
水分を多く含んだザクザクの重たい雪。

作業のポイント

朝のラッシュまでに、対象とするすべての道路を終わらせなければなりません。

作業により生じる雪は固くて重たいものになるため、ご家庭の間口の前には極力置かないよう留意します。

間口処理

新雪除雪は“時間との戦い”になります。
かき分けた雪の間口前の処理はみなさまにお願いしています。

削った雪を左右にかき分ける作業に加え、さらに間口前の雪を前後に振り分け、積み上げる作業を行います。

マンホール上のくぼみ対策をご存知ですか？

マンホール上のくぼみは、下水管から伝わる生活排水の熱(13~14℃)によって、マンホール上の雪が解けてできるものです。市では断熱効果の高いマンホールの蓋を取り付けるなどの対応を進めていますが、いかんせんマンホールの個数が多く、全てに対応するまでには至っていない状況です。

応急の対策

- ▶ マンホールのかぼみに雪を入れ、踏み固めて平らにする(水を加えるなどするとよく締め固まります)。
- ▶ 対策が難しい場合には土木センターにご連絡ください。

実は雪の置き場所に苦慮しています…。

路面整正の作業では固くて重たい雪が発生することになりますので、ご家庭の出入り口(間口)の前にはなるべく置かないように留意して作業を行います。

ただ、新雪時の除雪と同様、路面整正を行う際も、削った雪を運び出すことはできませんので、やはり道路上のどこかには置かなければなりません。

路線において、開けなければならない間口が多ければ多いほど…

雪の置き場所に苦慮してしまいます…

積み上げる雪山が大きくなってしまいます…

作業にかかる時間(日数)が大きくなります…

雪の置き場所についてご理解をお願いします！

間口の前にはなるべく雪を置かないよう留意しますが、やはり道路上のどこかには置かなければなりません。

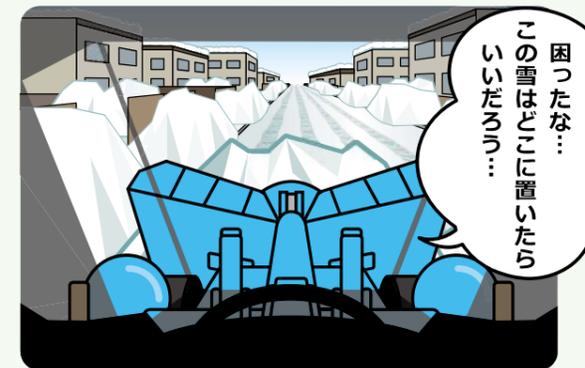
状況によっては、以下のような場所にも雪を置かざるをえない場合があります。

- 民間の排雪サービスが排雪した場所
- ロードヒーティングが施された場所

新雪除雪の3倍の作業時間がかかってしまいます！

新雪除雪とは違い、間口を開ける作業が伴いますので、「路面整正」には「新雪除雪」のおおむね3倍の時間がかかってしまいます。

市では、路面の悪化が予想される場合は、事前に「路面整正」を行うよう取り組んでおり、また、道路状況により悪いところから優先順位をつけて作業を進めますが、その状況や地区によっては少しお時間をいただく場合があります。



▲ 除雪車の運転席からは視界が悪く、間口をきれいに開けるのも、雪の置き場所を探すのも、大変な作業になります。



▲ 雪の置き場所については、ご理解とご協力をお願いします。